



個人投資家の皆様へ

日東ベスト株式会社 会社説明会

2025年8月9日



本日の内容

- 会社概要
- 事業内容
- 決算及び中長期の
取り組み
- PBR及び株主還元

 **会社概要**

 事業内容

 決算及び中長期の取り組み

 PBR及び株主還元

会社概要

日東ベスト株式会社 NittoBest Corporation

業務用冷凍食品を主力とする総合食品メーカー

2025年3月31日現在

設立/創業

設立77年目
(1948年7月設立)

創業88年目
(1937年10月創業)

本店所在地/代表取締役

山形県寒河江市

代表取締役会長 塚田 莊一郎
代表取締役社長執行役員
嵯峨 秀夫

証券コード 2877

東証スタンダード市場

1996年2月 店頭登録
2013年7月 JASDAQ(スタンダード)
2022年4月 東証スタンダード市場

資本金/発行済株式総数

1,474百万円

12,102,660株
議決権総数120,895個

連結売上高

2025年3月期
55,860百万円
(前年同期比 +2.9%)

連結従業員数

1,840名
(日東ベスト単体)
平均年齢 44.2歳
平均勤続年数 13.7年

株主総数

2,080名
(前年同期比 +352名)



会社概要

数字で見る 日東ベスト

「肉のベスト」と呼ばれる
国産コンビーフ第1号メーカー



「デザートของ BEST」と呼ばれる
全国の学校給食No.1の
クリスマスケーキを作る



4

女性が活躍

従業員の男女比 4 : 6



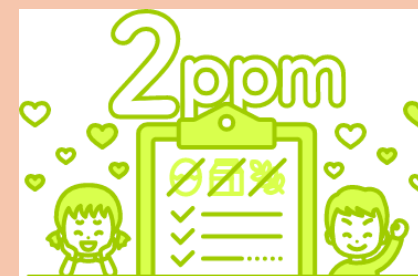
地域との共生

毎年開催の総合文化祭に約8000名来場

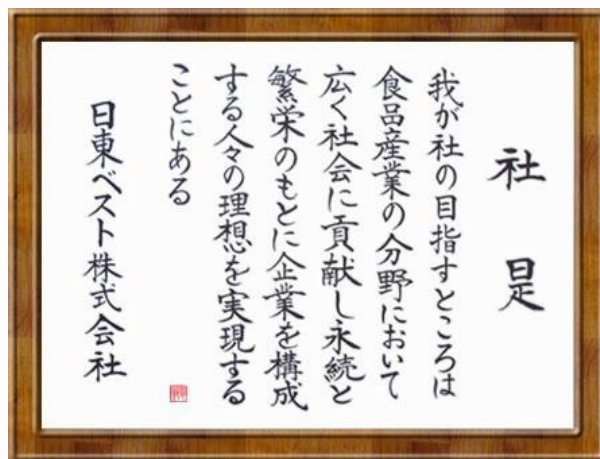


厳格な管理基準

アレルギー反応の検査基準は2ppm未満



経営理念(社是)



～日東ベストのシンボルマークに込めた思い～

「和」を表す円形がモチーフ



内部にはすくすくと伸びていく「芽」をデザイン
食品にとって大切な「みずみずしさ」と
企業にとって大切な「新しい発想の芽」を表現

食品産業の分野において

広く社会に貢献し 永続と繁栄のもとに
企業を構成する人々の理想を実現する



特色

- 国内生産×全国営業、外食・中食(※)・給食・介護食向けまでの豊富な商品を取り揃える製販一体のメーカー

※中食（なかしょく）の例は、お弁当や惣菜等を持って帰り、家庭内で食べる食事のこと

業務用冷凍食品の業界で
トップクラスのシェアを占める
代表的な商品群

- ハンバーグ
- 牛丼・焼肉
- とんかつ
- 焼そば
- デザート 等々

総合パンフレット

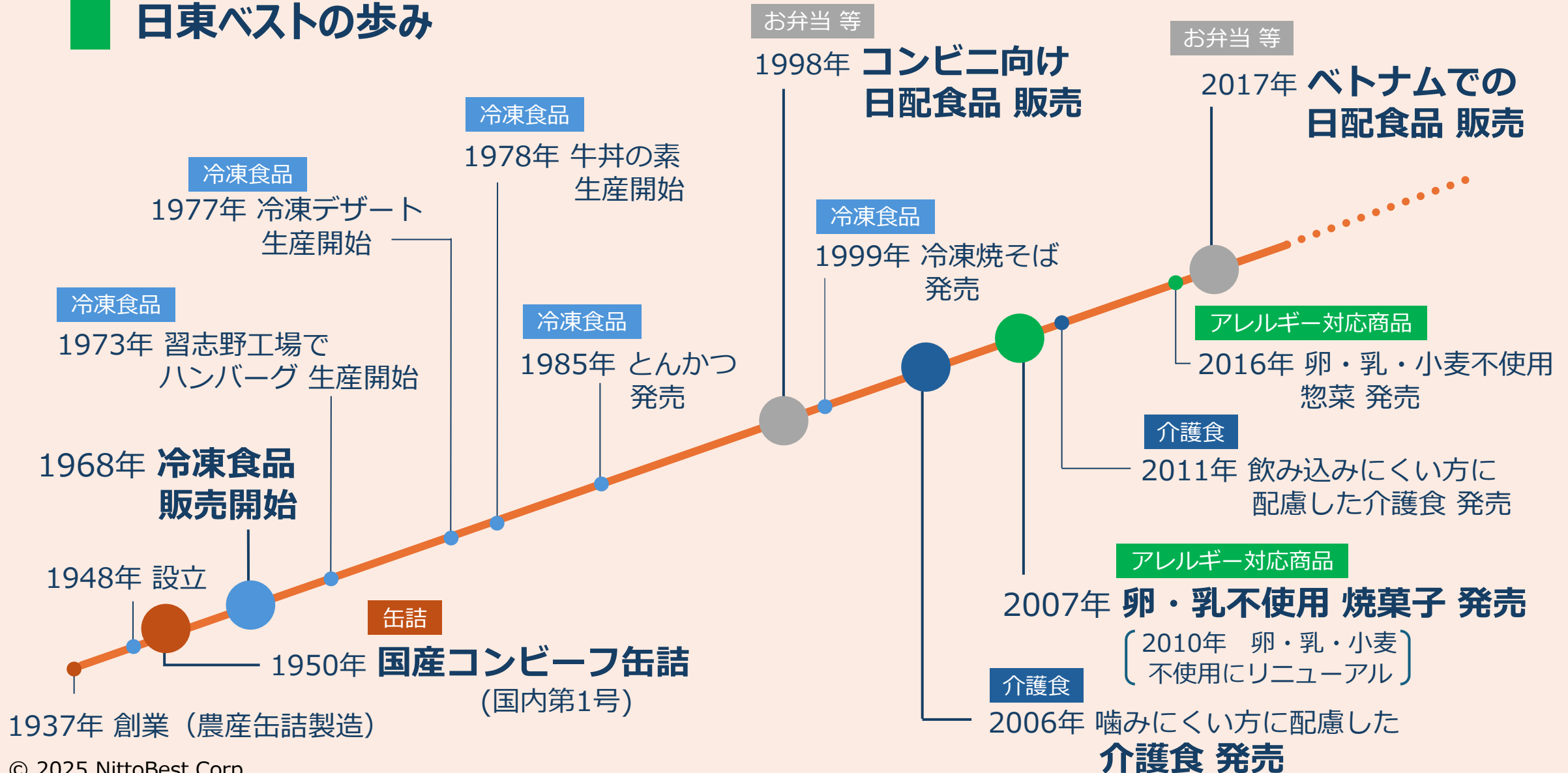


新商品ほか各種パンフレット等



会社概要

日東ベストの歩み



グループ7社 持分法適用会社1社を含む

冷凍食品製販

- 九州ベストフーズ株式会社 (福岡県)
卵・乳・小麦を持ち込まない専用工場
- 関西ベストフーズ株式会社 (滋賀県)

日配食品製販

- 株式会社爽健亭 (神奈川県/千葉県)

冷凍食品等販売

- 株式会社シロッコさがえ (山形県)
2025年4月設立

動物細胞の培養研究等

- 株式会社機能性ペプチド研究所 (山形県)

加工食品製販(ベトナム)

- JAPAN BEST FOODS COMPANY LIMITED
(ジャパンベストフーズ)

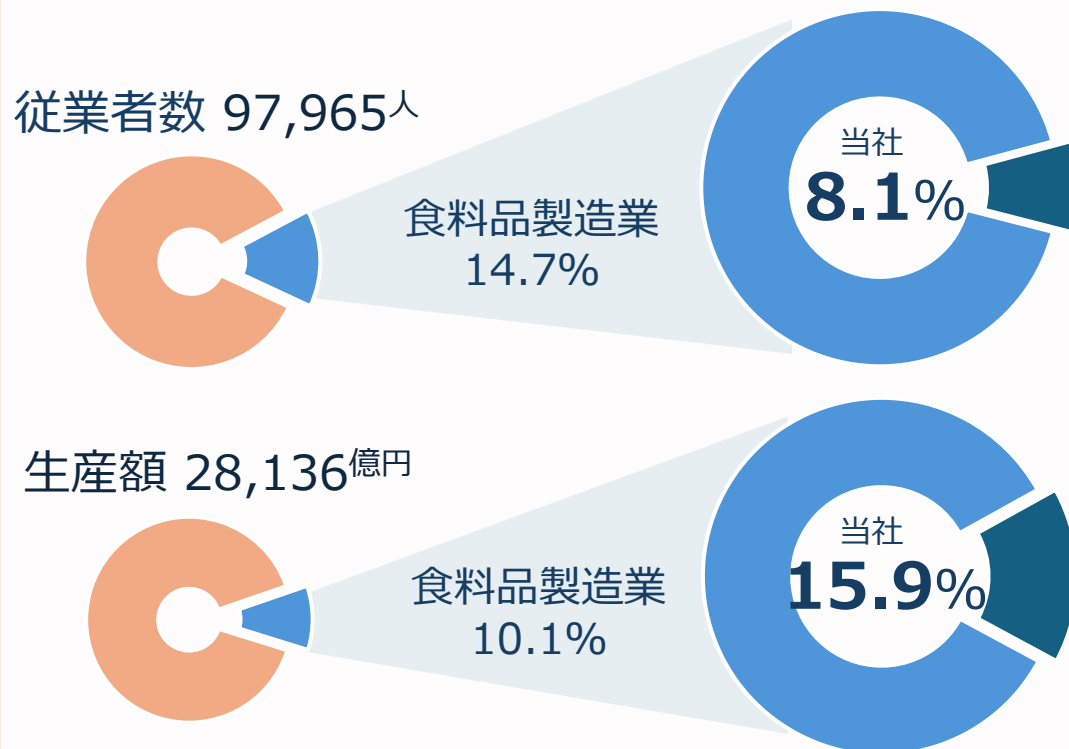
持分法適用会社

レトルトパウチ食品/冷凍食品の製販

- 日東アリマン株式会社 (新潟県)

地域への貢献：山形県における雇用創出×地域経済への貢献

山形県の工業



山形県の食料品製造業において

日東ベスト従業員数は**8.1%**相当

(2025年3月31日現在)

日東ベスト 山形県の従業員数 1,173人

山形県の食料品製造業で働いている従業員数は14,387人

日東ベスト生産額は**15.9%**相当

(2025年3月期)

日東ベスト 山形県が生産額 約451億円

山形県の食料品製造業の生産額(従業員数30人以上の事業所)
は約2,834億円

※山形県の工業-2023年経済構造実態調査 製造業事業所調査に関する結果報告書(山形県)
(https://www.pref.yamagata.jp/020052/kensei/shoukai/toukeijouhou/kogyo_top.html)をもとに当社作成

3つの強み

当社の強み① 冷凍食品事業で業界初を生み出してきたDNA



当社の強み② 「食の安全・安心へのこだわり」 徹底した品質管理



当社の強み③ 豊富な商品の品揃えを生み出す高い技術力・開発力

当社の強み①：冷凍食品事業で業界初を生み出してきたDNA

- 缶詰で創業（国産コンビーフ缶詰第1号メーカー）、1968年に冷凍食品事業に参入し業界初を創出

Scene 1： 学校

給食に クリスマスケーキ
など 季節のデザートが出る
2つの専用工場で作る
卵・乳・小麦不使用の商品も導入

日東ベストが最初！

季節や年中行事に合わせた
デザートを提案・導入し、
「行事食」という分野を
新たに開拓

Scene 2:病院・高齢者施設

1食分のメニューが
一皿になった介護食を
スタッフは温めて
出すだけ

日東ベストが最初！

外食産業に比べ調理にかかる
人手不足が深刻な業界
⇒ 当社がいち早く弁当形式を
提案・導入し課題改善に貢献

Scene 3： 外食

街の喫茶店やそば屋で
いろいろなメニューが
楽しめる
ハンバーグ、牛丼、とんかつ…

日東ベストが最初！

たくさんのメニューを小さな
お店が1から作るのは大変
⇒ 当社の製品を採用いただき
メニューの幅が広がった

当社の強み②：「食の安全・安心へのこだわり」徹底した品質管理

- 徹底した原材料の全検品体制構築、本質保証本部の独立性を確保

外部認証で強化された工場管理

自社全工場+子会社2工場 全10工場で
FSSC22000・JFS-C
の認証を取得 (2023年)



経験を重ねた検査員による品質確認



フードディフェンスカメラ



専門部署で 行う細菌検査



当社の強み③：豊富な商品の品揃えを生み出す高い技術力・開発力

- 幅広い用途やニーズに対応する商品を取り揃えて、多様な食文化を応援する総合食品メーカー

3つの温度帯（冷凍・チルド・常温）で約2,500品目の幅広い商品を展開
日配食品まで取り扱う豊富な品揃え

工場に直結した開発拠点

生産現場に紐づく開発で、
お取引先や消費者寄りの視点から、
食の志向やニーズに応じて様々な商
品を生み出す対応力

多用途の商品に対応できる現場力

様々な用途の商品に対応できる生
産力と品質力
業界トップクラスの肉加工品から麺類
やデザートまでを作ることができる、多
様な技術力とノウハウの蓄積

社会課題に挑む開発力

食物アレルギーに対応するデザートや
おかずシリーズのバリエーションを増や
す開発力、2つの専用工場で生産
噛む力・飲み込む力に応じた3段階
の硬さで、野菜から肉・魚介までの
豊富なセットメニューを揃える開発力

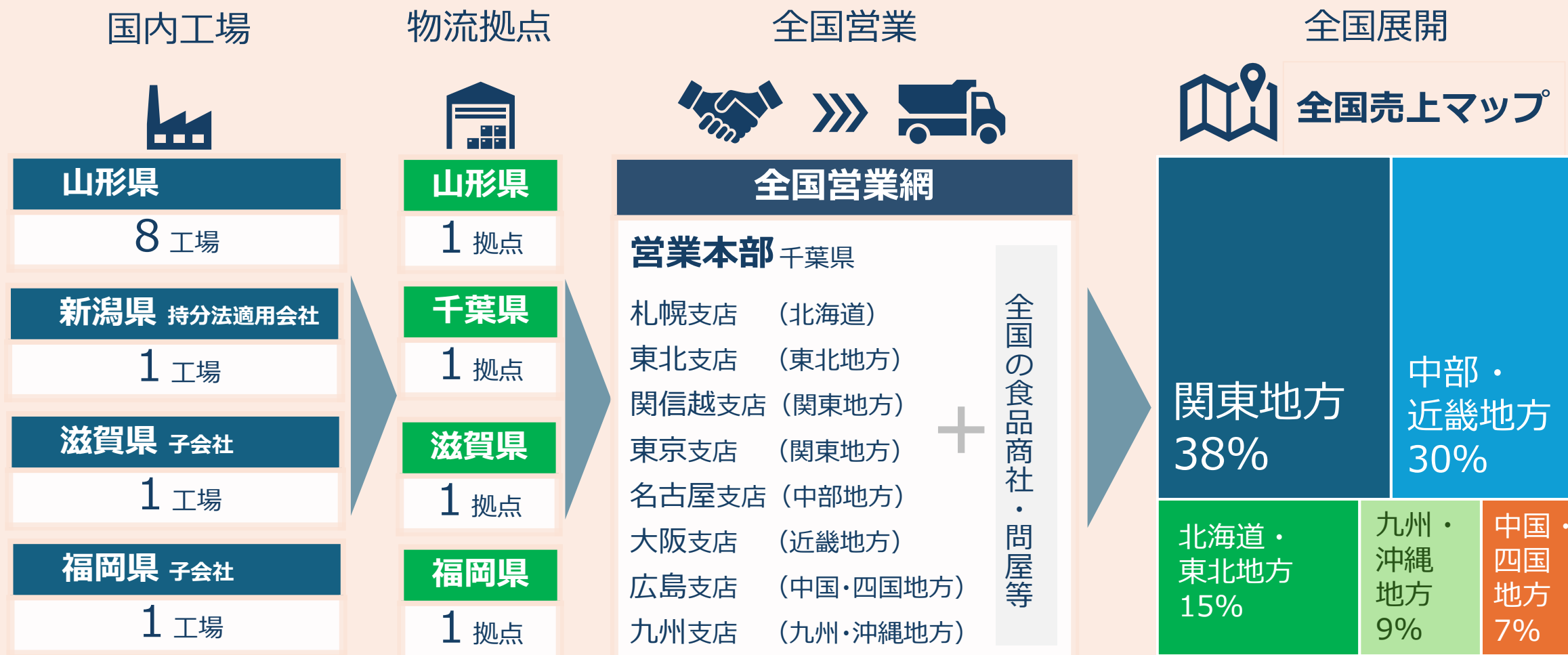
会社概要

事業内容

決算及び中長期の取り組み

PBR及び株主還元

冷凍食品事業における「国内生産×全国営業」 製販プロセスを一体化



販売チャネルは、B to B (事業者間取引)に加え、最終消費者への販売も視野

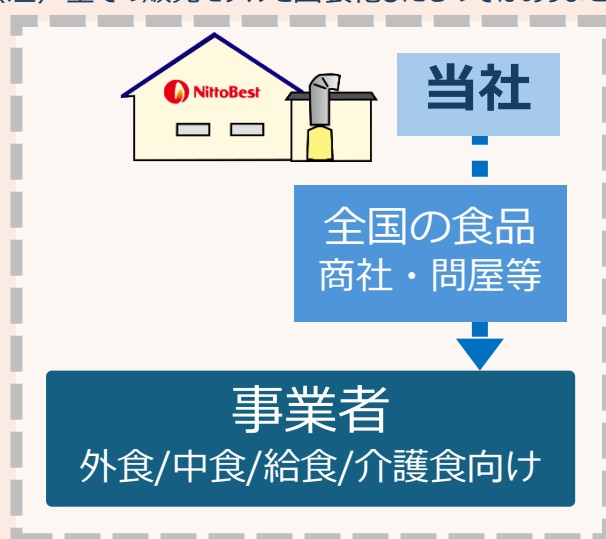
B to B

2024年 市販事業部を立上げ
2025年 直販事業部を新会社に分割

最終消費者への販売
本格始動

製造者として販売

(注) 全ての販売モデルを図表化したものではありません



最終消費者

製造者として販売

+

販売者として販売



同左

間接販売
(市販)

市販事業部
BtoC

全国の食品
商社・問屋等

食品スーパー
ドラッグストア等

新会社
DtoC

直接販売
(直販)

最終消費者

※ BtoC (市販) とは、当社商品を、食品スーパー等を通じて最終消費者に販売することという
※ DtoC (直販) とは、当社商品を、ECサイト等を通じて直接販売することという

生涯の食事の機会をサポート：気付かぬうちに、日東ベストが作った商品を喫食

ライフステージ



食事の機会

業務用

冷凍食品
その他の部門

日配食品
海外子会社

外食・中食(お弁当等)・給食・介護食向け冷凍食品が主力

レストラン/飲食店 ホテル

食品スーパー(惣菜) など

(外食向け調理済み食材、お弁当や惣菜等の中食向け)



学校給食



病院・高齢者施設

卵・乳・小麦を使用しないアレルギー対応商品

CVS (コンビニ)

食品スーパー など

お弁当等の盛り付け品や
おにぎり・麺類など

業務用冷凍食品の業界でトップクラスのシェアを占める代表的な商品群

ハンバーグ

牛丼・焼肉
とんかつ/焼そば

デザート

アレルギー対応商品

やわらか介護食

お弁当 等

事業内容(商品例)

ハンバーグ



プロのニーズに応えてきた
「肉のベスト」自慢の商品群

価格帯や商品特徴ごとに様々なアイテムを展開



牛丼・焼肉/とんかつ/焼そば



長年愛され続ける畜肉メニューや
焼そば等の定番商品群

牛丼の素DX



旨だれ牛カルビ焼肉



ベストデリロースカツ(160)



まちのソース焼そば

デザート



レストラン



ホテル



学校給食



病院・高齢者施設

「デザート 베스트」

彩り豊かで華やかなロールケーキやゼリーなど
多彩な品目で幅広い用途をカバーする商品群

ロールケーキ



カットケーキ

サンタさんの
いちごケーキ
チョコケーキ



カップデザート



新お米のムース



やわらか杏仁豆腐

大袋入り
カット
ゼリー

アレルギー対応商品



学校給食

「みんなと一緒に、楽しく同じものを食べたい！」
アレルギーのある子どもたちの願いをかなえる商品群

食物アレルギーの約半数を占める卵・乳・小麦を不使用



クレープ、マフィン、タルト
ケーキなどの焼菓子



ハンバーグ、肉団子
グラタン、
チキンナゲット等



© 2025 NittoBest Corp.

厳格な品質管理体制の下で生産

厳選した原材料
を受入れ

卵・乳・小麦を
持ち込まない2つの
専用工場で生産

精密な検査で確認

消費者



やわらか介護食



病院・高齢者施設

噛みやすさ・飲み込みやすさに
徹底的にこだわって開発した商品群

野菜から肉・魚介まで
レパートリー豊富な品揃え

噛む力の弱い方に
配慮した
ホスピタグルメ



噛む力や飲み込む機能が
低下した方に配慮した
スムーズグルメ



人手不足でもバランス良い食事を提供
3段階の硬さを選ぶセットメニュー



お弁当 等

日々の惣菜売場を舞台とする
バラエティ豊かな日配食品群



スーパー
惣菜



コンビニ
弁当

おにぎり・サンドイッチ



丼ぶり
メニュー



弁当



スーパー・コンビニ向け

子会社 爽健亭
横浜・習志野工場
で作っています



惣菜



麺類



会社概要

事業内容

決算及び中長期の取り組み

PBR及び株主還元

決算及び中長期の取り組み

連結損益の状況(2025年3月期)

連結売上高

55,860百万円
前年同期比 +2.9%

連結営業利益

574百万円
前年同期比 +13.8%

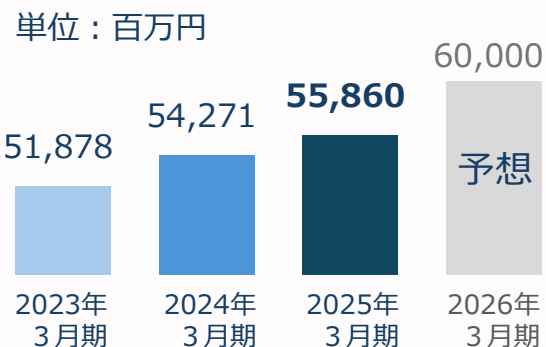
親会社株主に帰属する当期純利益

384百万円
前年同期比 ▲6.5%

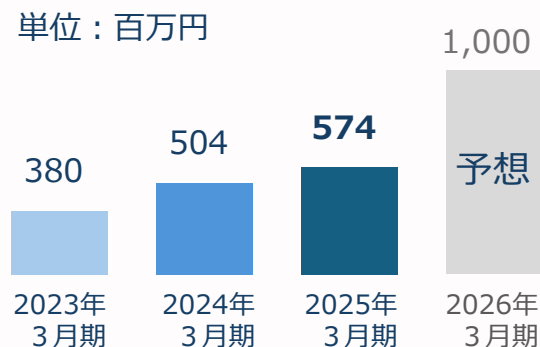
ROE 自己資本利益率

2.4%
前年同期比 ▲0.3%

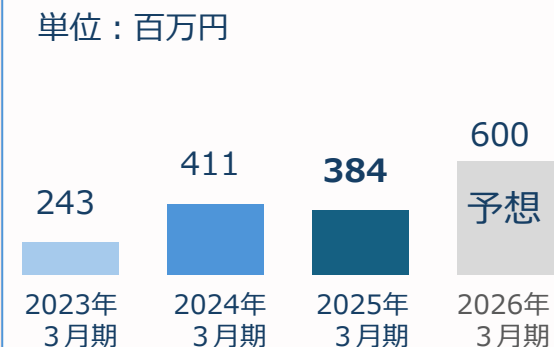
連結売上高



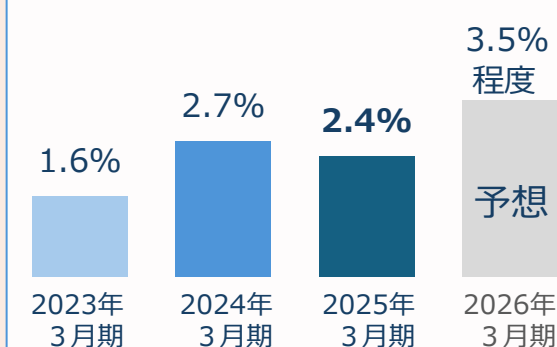
連結営業利益



親会社株主に帰属する当期純利益



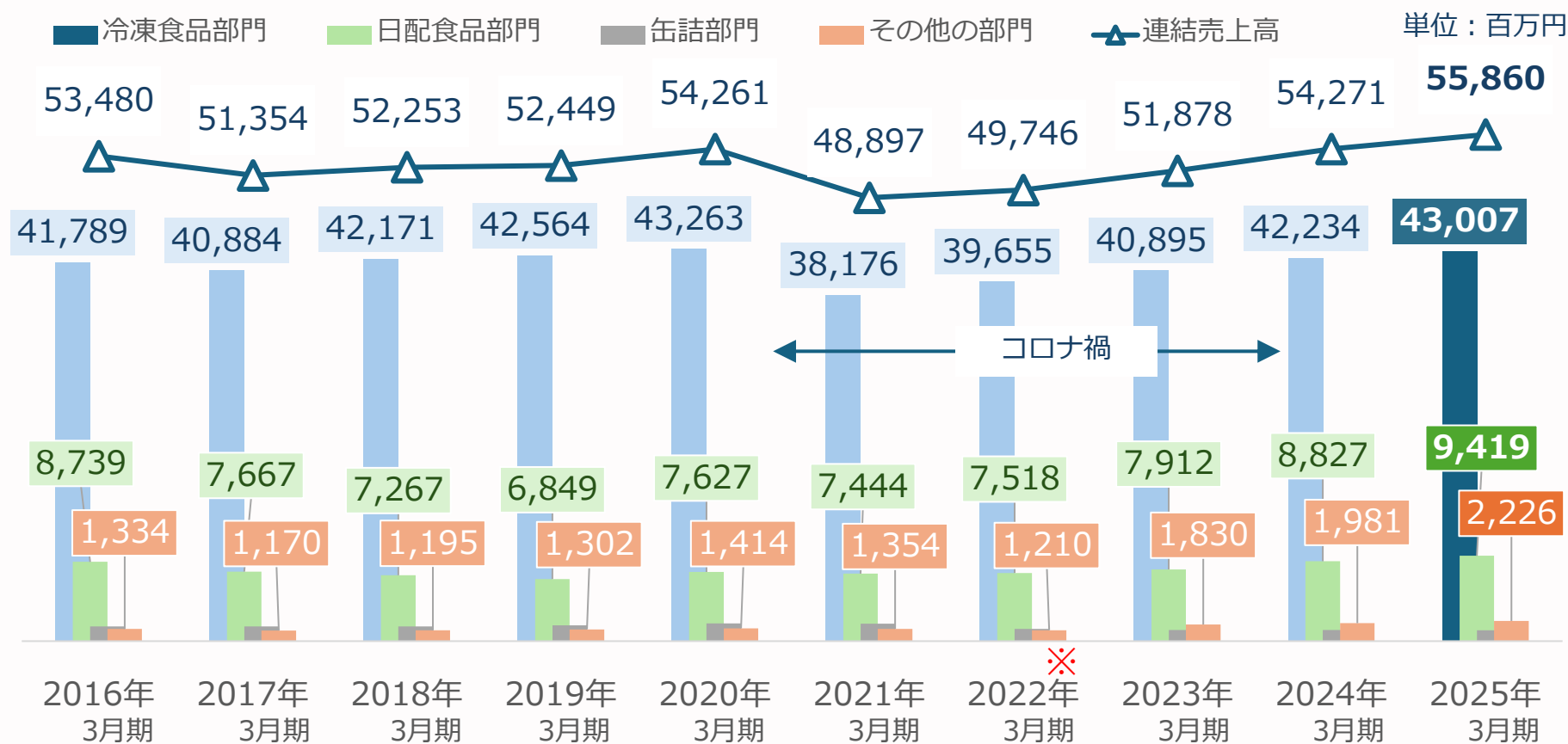
ROE 自己資本利益率



決算及び中長期の取り組み

部門別連結売上高の状況

- 介護食(冷凍食品)、日配食品、その他の部門(海外子会社を含む)が伸長



2025年3月期実績

冷凍食品部門

売上構成比率 77.0%

43,007 百万円
前年同期比 +1.8%

日配食品部門

売上構成比率 16.9%

9,419 百万円
前年同期比 +6.7%

その他の部門

売上構成比率 4.0%

2,226 百万円
前年同期比 +12.3%

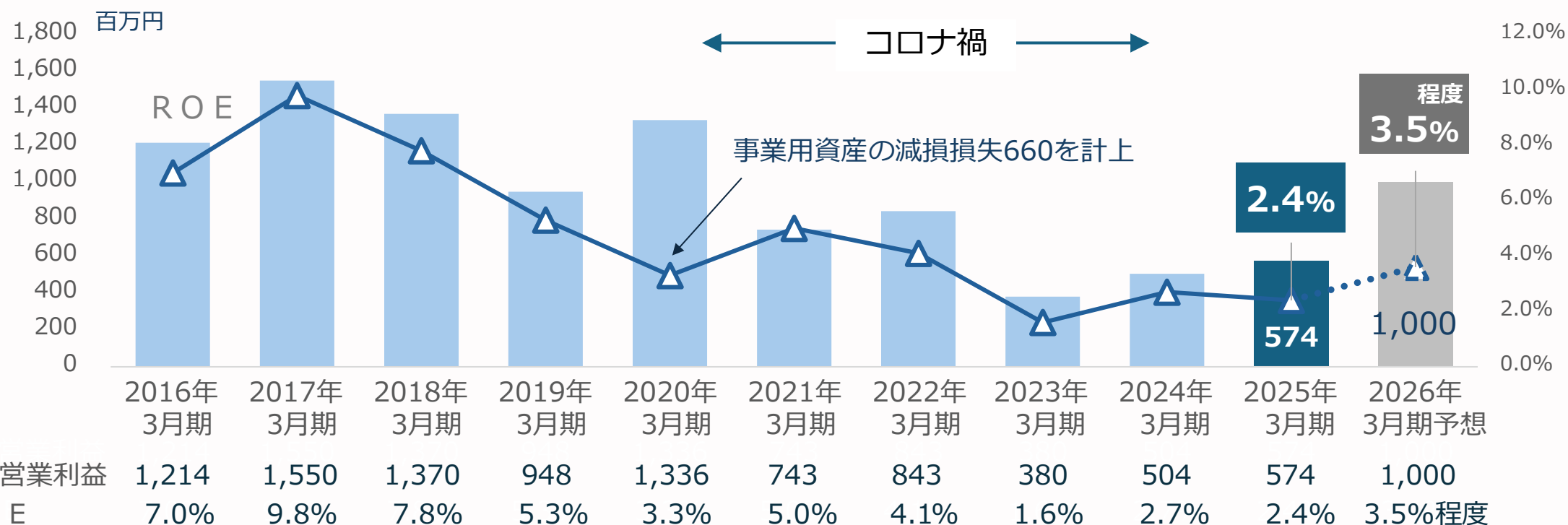
缶詰部門

売上構成比率 2.1%

1,206 百万円
前年同期比 ▲1.7%

連結営業利益及びROE(自己資本利益率)の状況

- コロナ禍後もなお続く原材料高騰やエネルギー・物流費上昇、円安などのあらゆるコスト増加の影響に対して、販売数量の回復ピッチが弱く、値上げや原価低減等の改善効果が、まだ追い付いていない状況



決算及び中長期の取り組み

子会社の状況

- 子会社が主力の日配食品部門、その他の部門（海外子会社を含み、缶詰部門を除く）ともに安定した利益を計上

日配食品部門（株式会社爽健亭※）

売上高 94.1億円 前年同期比+6.7%

※1998年設立、2004年吸収合併後、2016年新設分割



その他の部門

海外子会社（JAPAN BEST FOODS※）を含む

売上高 22.2億円 前年同期比+12.3%

※2016年設立



中期経営計画Reborn & Growing 2028 の位置付け

業績回復の重し

原材料高騰やエネルギー・物流費上昇などコスト増
物価高の影響で高まる食費節約意識 等

稼ぐ力の強化／社是の実現

- コロナ禍で減速した販売数量挽回
- 適正価格の訴求（値上げ、原価低減等）
- 最終消費者への直接販売等の事業価値創出

コロナ禍

前・中期経営計画
Change & Reborn 2025

利益改善×基盤の再構築

中期経営計画
Reborn & Growing 2028

経常利益20億円以上
を確保する基盤づくり

年度方針
2025年
3月期

年度方針
2026年
3月期

年度方針
2027年
3月期

年度方針
2028年
3月期

年度方針
2029年
3月期

環境変化への対応強化のため、
毎期、中期経営計画をベースに年度方針・予算策定

中期経営計画Reborn & Growing 2028 の基本方針

**販売数量
拡大**

冷凍食品部門の
立て直し



**事業価値
創出**

本業の稼ぐ力
の強化



社是の実現

ステークホルダー満足の実現

持続的な成長

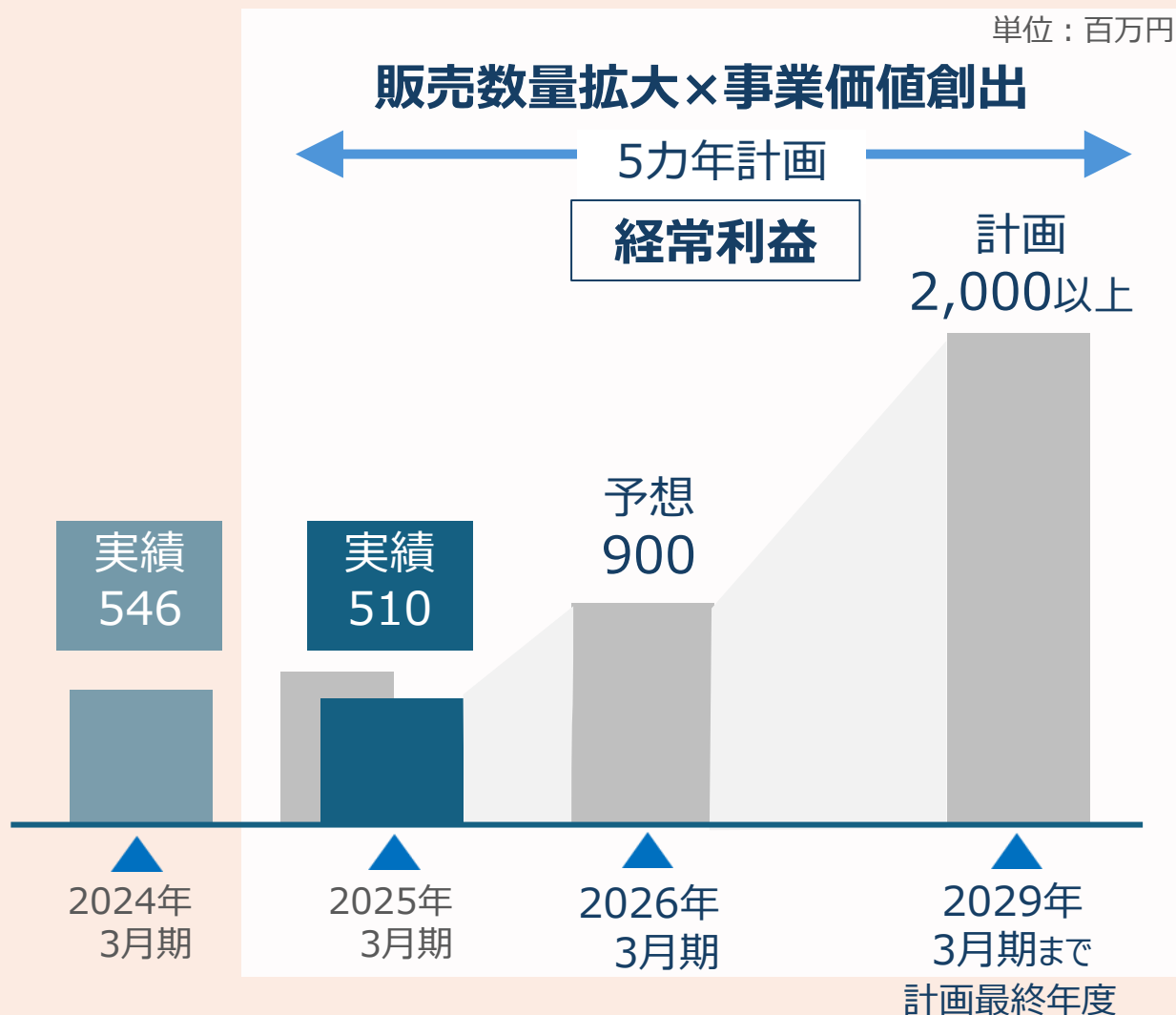
企業価値向上

重点方針

- ✓ 技術力の強化と他社が追随できない高度な品質の実現
- ✓ 重点分野/注力商品群の明確化による**冷凍食品部門の立て直し**
- ✓ 組織/業務の見直しと意識改革及び行動変容の促進による組織力の強化
- ✓ 従業員満足の向上と人材育成・強化推進による人的資本の向上
- ✓ 環境変化への適切な対応によるサステナビリティの確保

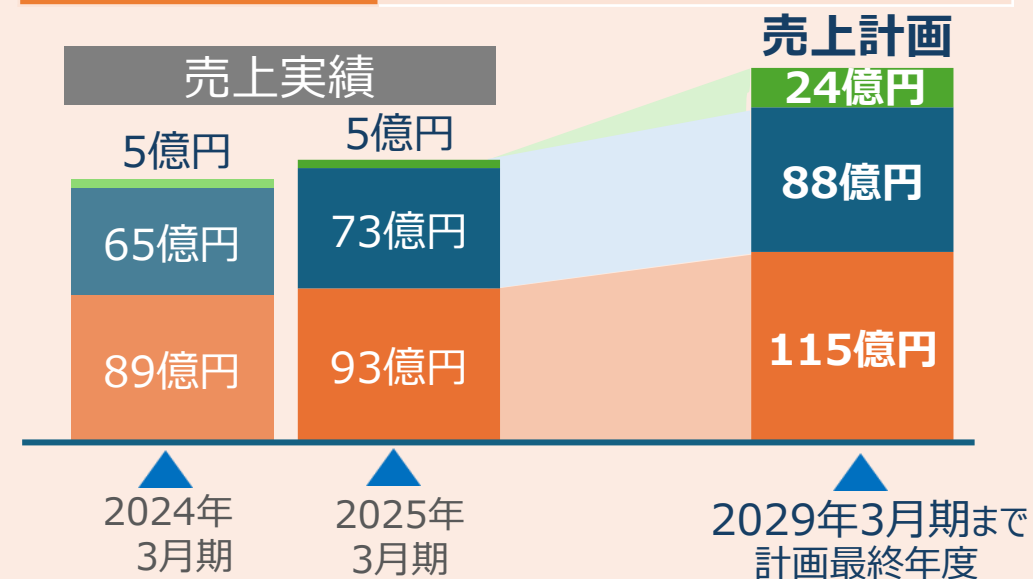
決算及び中長期の取り組み

中期経営計画の利益目標と進捗



冷凍食品部門の立て直しを主軸とした利益目標の達成に向けて当社の強みを最大化
重点3分野で売上高42%増、約68億円の積上げを計画

重点分野	注力商品群
市販・直販向け	最終消費者向け販売 ■ アレルギー対応商品 ■ 商品ラインアップ拡充
病院・施設向け	やわらか介護食商品
外食向け	畜肉商品（ハンバーグ等）



決算及び中長期の取り組み

最終消費者への販売 市販・直販向け新商品(家庭用)のご紹介

市販向け

当社商品を、食品スーパー等を通じて最終消費者に販売



2024年 エーデルシェフ
家庭用冷凍食品ブランド「Edel Chef」
立ち上げ

本格的なレストランの味をそのままに
ご家庭にお届けするブランドです



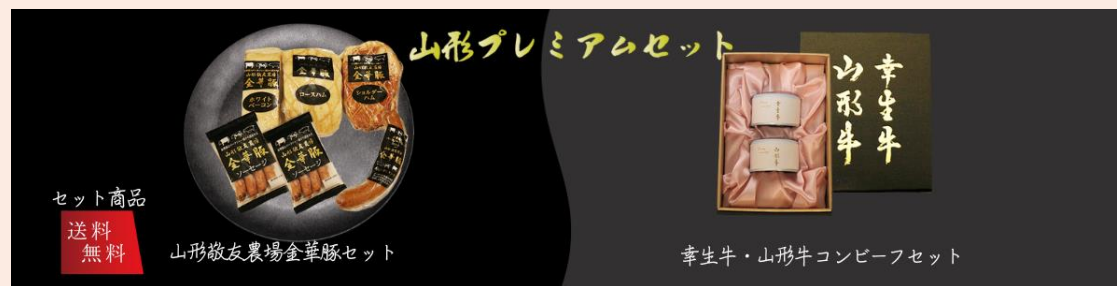
ブランドサイト

<https://www.nittobest.co.jp/Portals/0/edelchef/index.html>

© 2025 NittoBest Corp.

直販向け

当社商品を、ECサイト等を通じて最終消費者に直接販売



2025年
地元応援型プレミアムシリーズを新発売

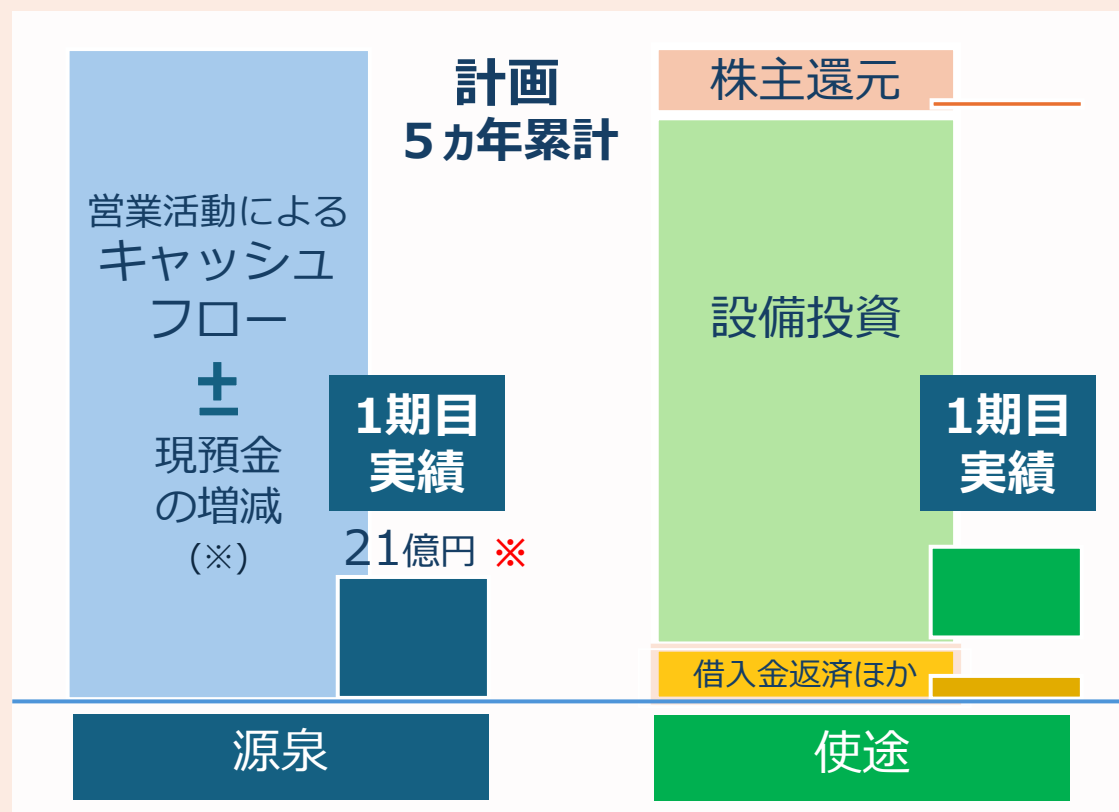


オンラインストア

<https://www.nittobest-online.net/>

キャッシュ・アロケーション（資金配分）の状況

- 持続的成長に向けて、生産性や品質改善、稼ぐ力の強化やコスト削減効果が見込める設備投資の増強を計画
- 利益目標の達成は道半ば、その進捗の向上を通じて設備投資の上積みを積極的に実行していく



※ 前連結会計年度末が金融機関の休日であった影響（期末日満期手形及び電子記録債務14.6億円の決済等）による現金及び現金同等物の減少を含めています

© 2025 NittoBest Corp.

使途の優先順位

キャッシュ・アロケーションの基本的な考え方

- 1 成長投資**
生産性向上の新規・効率化投資、省エネ・環境対策投資促進 等
- 2 環境整備**
成長基盤や職場環境の整備
既存資産の維持・更新 等
- 3 株主還元**
持続的な利益成長を通じて、
安定的かつ持続的な配当を実施

1期目実績

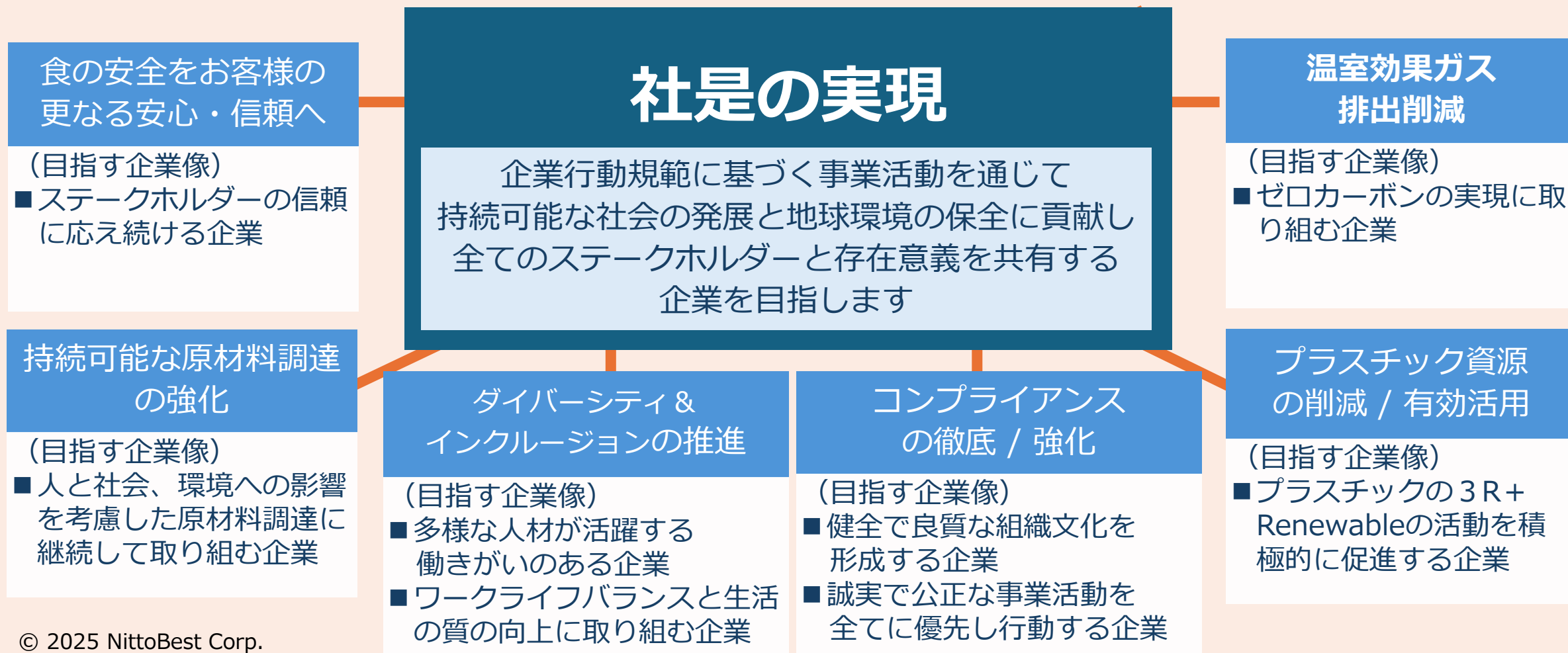
16.6億円

1.4億円

【注】連結キャッシュ・フロー計算書等をもとに、内容を要約して作成しています

サステナビリティ基本方針と6つの優先課題

- 2022年に基本方針を策定し、持続的成長と企業価値向上を目指す経営の姿勢を明確化しています



サステナビリティに関する取り組み例：温室効果ガス排出削減

- 再生可能エネルギーの利用や非化石エネルギーへの転換を通じて、CO₂を含む温室効果ガスの削減に取り組んでいます

山形工場	太陽光パネルを設置
神町工場	使用電力の全量を、水力発電所由来の非化石エネルギー（再生可能エネルギー）に転換
東根工場	自然冷媒タイプの急速冷凍設備に更新

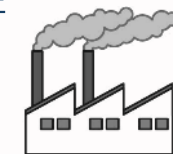


温室効果ガス排出削減

2018年 → 2024年

自社排出量

19.1% 削減



山形工場の太陽光パネル



神町工場のエネルギー転換効果

従来

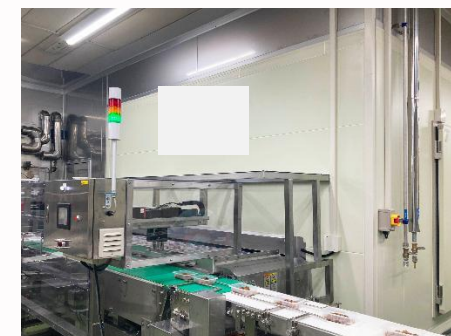
約**1000**
t-CO₂

再エネ由来
の電気に
切り替え

現在

0
t-CO₂

東根工場の自然冷媒タイプの冷凍設備



会社概要

事業内容

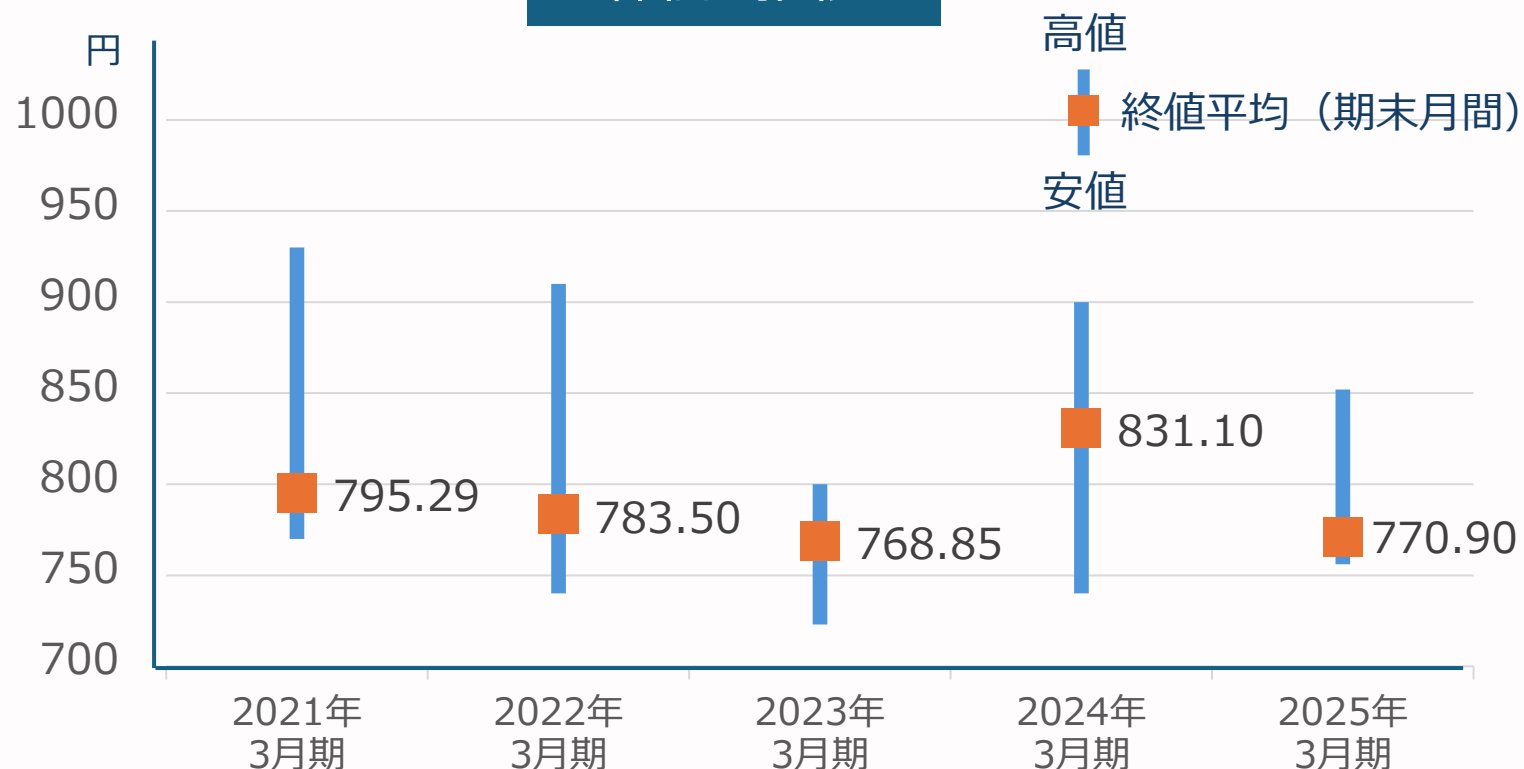
決算及び中長期の取り組み

PBR及び株主還元

株価の推移

- 株価が上昇していない中で、1株当たり純資産額は増加し、PBRは1倍割れが続いている

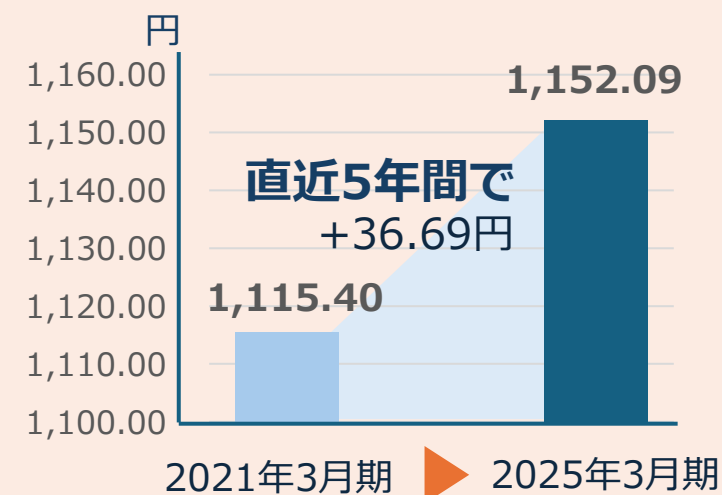
株価の推移



2025年3月期の分析

$$\text{PBR} = \frac{\text{株価}}{\text{1株当たり純資産額}} \dots \text{増加}$$

1株当たり純資産額



PBRの1倍割れの要因を、ROEとPERの両面から分析

- PBRをROEとPERに分解、PERは目標水準を上回ることから、PBRの改善は、ROEの改善・向上がキーとなる

PBR

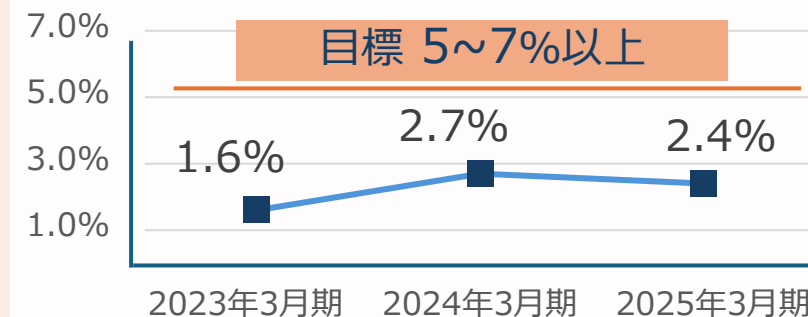
3年間の推移

最低0.57倍 ～ 最高：0.69倍

分解

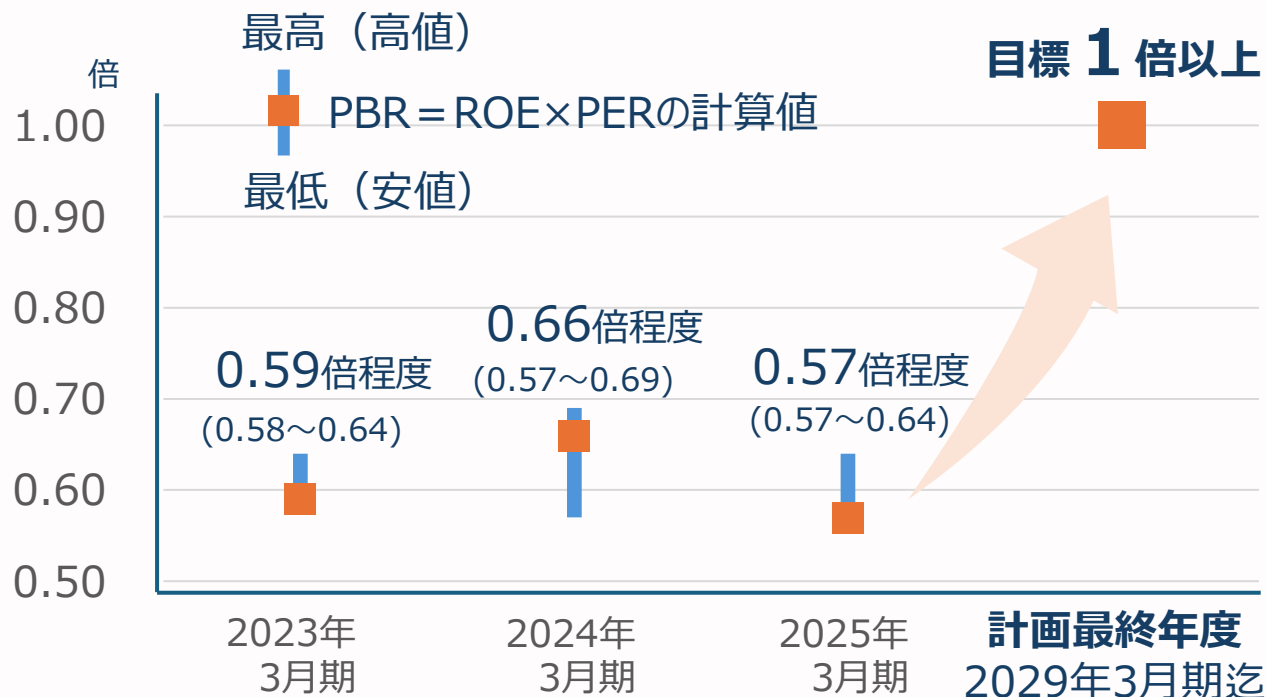
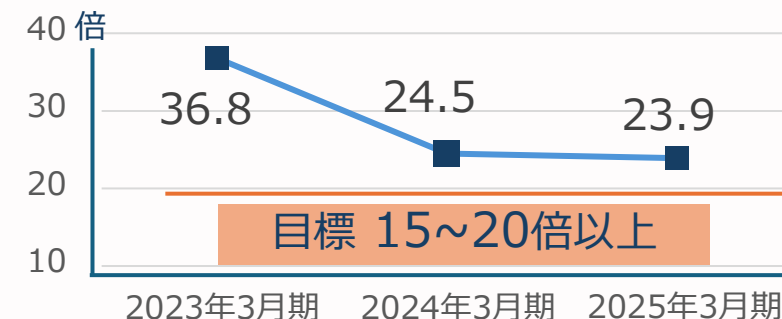
ROE

目標水準を**下回る**



PER

目標水準を**上回る**



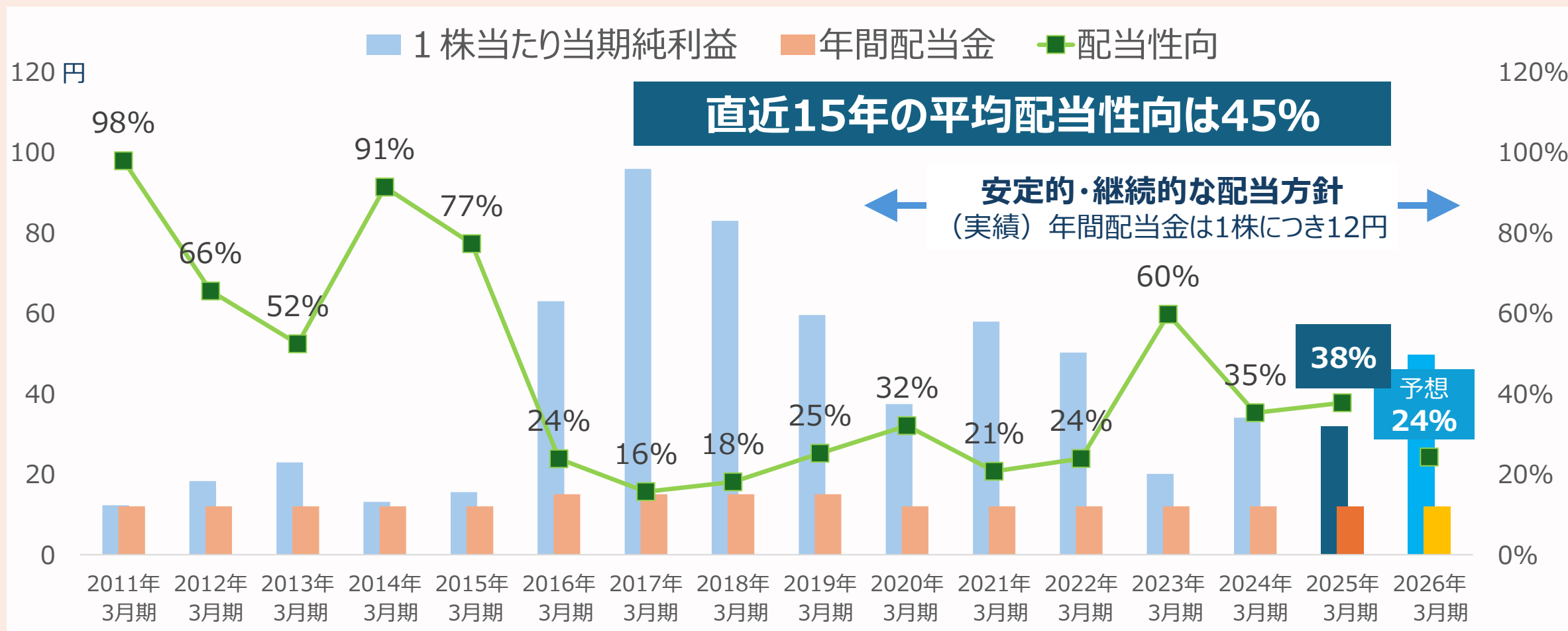
ROEの改善・向上への課題

- 収益性の改善が必要であり、中期経営計画の施策の着実な実行を通じて、ROEの改善・向上を実現する
- 方針
 - ・ 本業の稼ぐ力の強化にしっかり取り組む
 - ・ ROEの改善・向上のほか、株主還元を含めて継続的・安定的な市場の評価を得る取り組みも推進する

	ROE 自己資本利益率		収益性 売上高純利益率		資本効率性 純資産回転率		財務レバレッジ 1÷自己資本比率
目標	5%～7% 以上	=	1.5% 以上	×	1.3倍 以上	×	2.8倍 程度
	▼		▼		▼		▼
実績 2025年3月期	課題 2.4%	=	課題 0.7%	×	1.4倍	×	2.5倍

1996年店頭登録以降、30期有配、赤字決算は2003年3月期（1期）のみ

■ 株主還元において、株主資本を考慮した配当方針の導入も重要な検討課題として認識している



3月31日現在、当社株式を1年以上継続して保有されている株主へ
お申込みにより、選べる当社商品詰め合わせセットを進呈しています

300株以上 ~ 1,000株未満 保有の株主様

自社商品 **1,500**円相当

A:常温品セット
B:冷凍品セット から選択

例：1500円相当 Aコース 常温品セット



1,000株以上 保有の株主様

自社商品 **4,000**円相当

A:常温品セット
B:冷凍品セット
C:冷凍フレンズセット から選択

例：4000円相当 Cコース 冷凍フレンズセット



画像は
2025年度の
見本です

参考 株主優待制度を通じた社会貢献活動団体への寄付

お申込みのなかった株主の優待商品相当額は、当社より社会貢献活動団体に寄付いたします

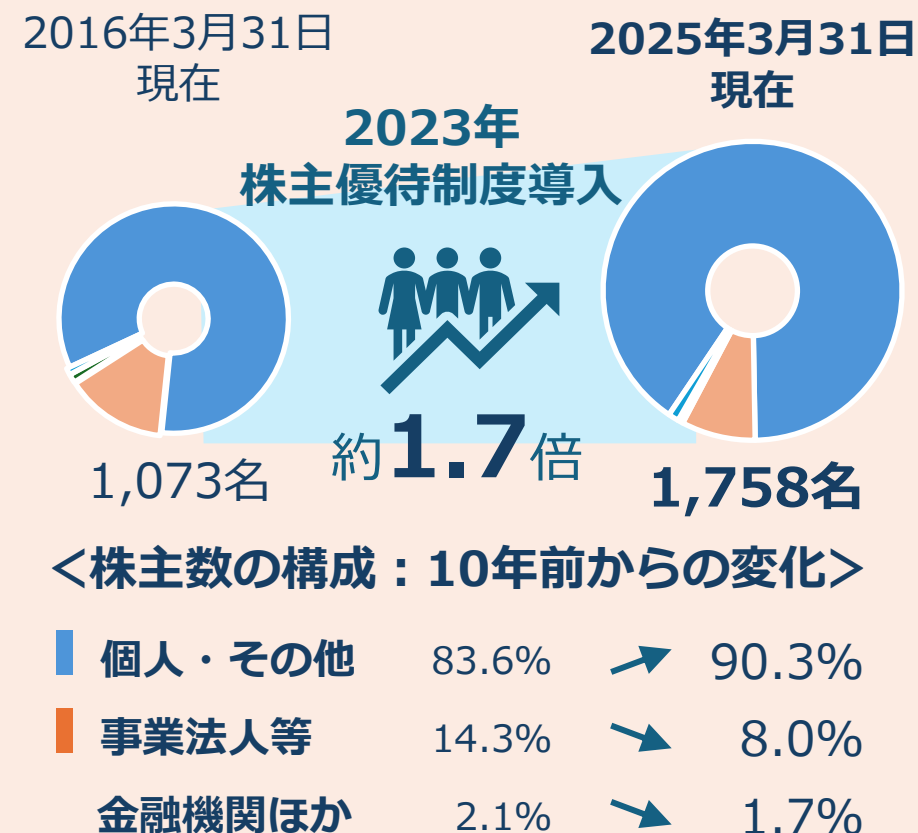
最新の情報は当社ウェブページをご覧ください <https://www.nittobest.co.jp/ir/stock/yield.html>



株主構成(大株主) 上位10社

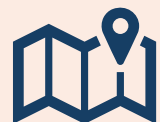
株主名	持株比率
日東ベスト取引先持株会	12.81%
有限会社ウチダ・コーポレート	7.78%
農林中央金庫	5.00%
株式会社山形銀行	4.95%
日東ベスト従業員持株会	4.75%
株式会社ウチダ・ホールディングス	4.35%
国分グループ本社株式会社	2.42%
東洋製罐グループホールディングス株式会社	2.40%
第一生命保険株式会社	1.79%
内田真帆子	1.79%

議決権を有する株主数とその構成

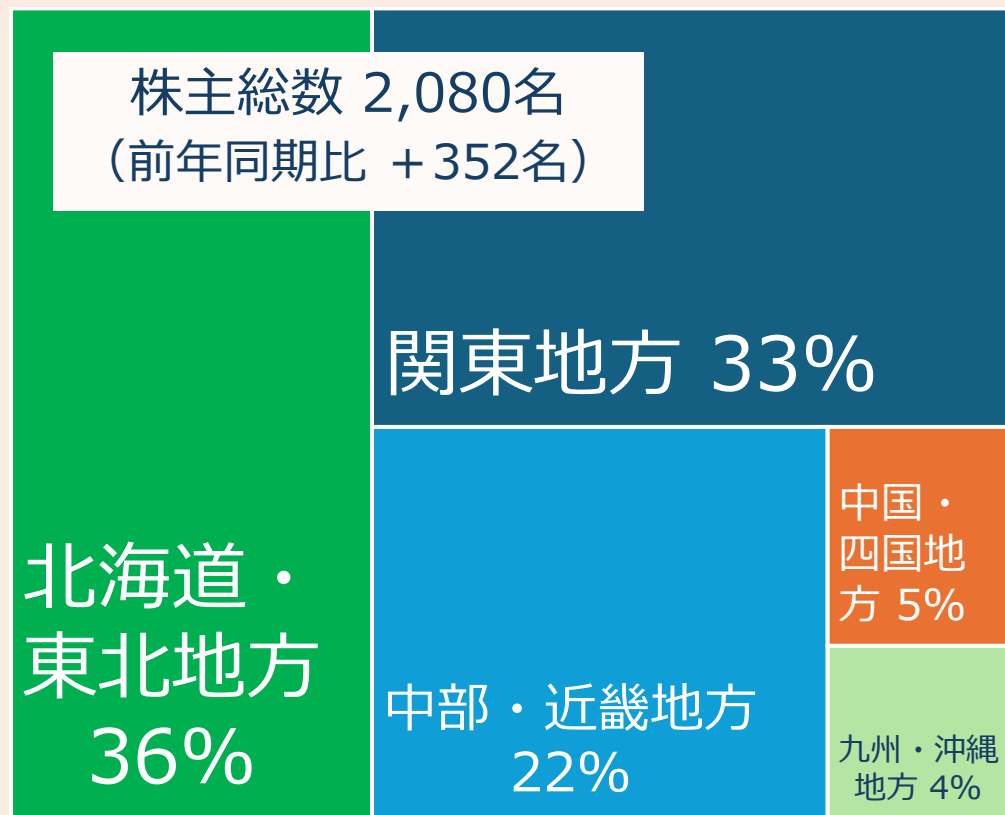


Appendix 株主の状況②

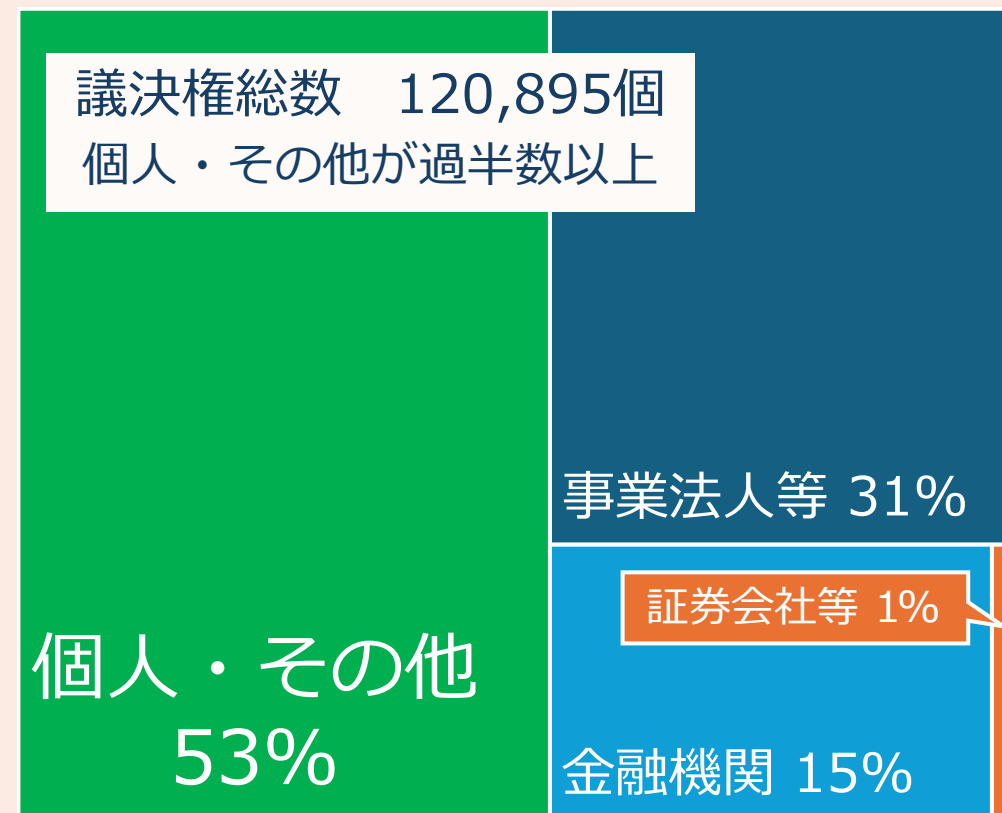
株主のエリア別分布、所有者別議決権総数の構成



エリア別（全国に分布）



所有者別議決権総数の構成



ご清聴ありがとうございました

- ※ 本資料は投資勧誘の目的のための資料ではありません。また、将来にわたる部分につきましては、予想に基づくものであり、確約や保証を与えるものではありません。様々なリスクや不確定要素の変動及び経済環境の変化等による不確実性が含まれております。
- ※ その結果、将来の実際の業績等がこれらの記述と異なる結果となることを十分にご認識の上ご活用ください。

(ご参考)

中期経営計画 Reborn & Growing 2028

<https://www.nittobest.co.jp/ir/other/businessplan.html>



当社オンラインストア

<https://www.nittobest-online.net/>



日東ベスト株式会社
経営企画室
総務人事部 法務・コンプライアンス課
電話 0237-86-2100 (代表)